

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの作成日: 令和 5 年 8 月 21 日**目標達成計画書**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	新型コロナ5類移行に伴い、対面で会議を開催し、ホームの運営や取り組み等を報告している。コロナ収束後は、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、運営推進会議の発展に向けて検討していく。	コロナ収束後は、地域の他事業所との合同開催にチャレンジしたり、会議の中で、勉強会や地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	コロナ禍の中で地域との交流も難しい状況であるが、コロナ収束後には、事業所の持つスキルやノウハウを地域に還元し、認知症やグループホームの啓発活動を行っていく。	コロナ収束後には、介護相談事業や体験学習、ボランティアの受け入れ、地域との防災協定の締結等、事業所の力を活かした地域貢献に積極的に取り組み、頼りになるグループホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。